

2. 考察

【保護者アンケート】

アンケート回答率は、63%でした。より多くの保護者の皆様のご意見を頂ければと思いますので、来年度以降もアンケートへの回答のご協力をいただければと思います。

「学校運営」に関する項目

項目全般に90%以上の評価をいただいております。しかし、2「学校は一人一人にとって『楽しい学校』づくりに努めている」は88%と少し低めになっております。生活面、学習面で心配ごとを抱え、それが解決できていない児童がいることが理由の1つであると考えられます。トラブルや心配事は早期に解決し、児童が楽しく学校に通うことができるよう、そして保護者が児童を安心して通わせられるよう、対応の仕方を全職員で見直し、改善していきます。

「子どもたちの日常生活」の項目

全体的に数値が低くなっています。睡眠時間の確保や手伝いなど、家庭で担っていただく部分が大きい項目は、学校と家庭が連携・協力し、改善をしていきます。

「学習」に関する項目

項目全般、評価が低くなっております。16「お子さんは分からないところを先生によく教えてもらっている」の69%という評価は、「聞きたいけれど聞くことができない」、「分からなく困っていることに先生に気付いてもらえない」ことの表れだと考えます。私たち教員が日頃の学習指導法の見直しを図るべき結果と真摯に受け止め、指導法の改善に努めます。また18「お子さんは家庭でよく読書をしている」は37%と一番低い評価になっております。しかし、児童アンケートでは75%の児童が「読書がすき」と回答し、教職員も87%が「読書を奨励している」と回答しています。このように回答に大きく差が出てしまったのは、学校では朝の読書タイムで、意図的に読書をする時間を設けているため、児童や教職員の肯定的評価の高さにつながったからだと考えます。読みたいと思う本を毎年増やしていくなど、学校の図書室及び読書環境を整備し、貸し出し本を増やすことで、家庭での読書習慣につなげられるようにしていきます。

健康安全心の教育の項目

19「体力の向上に向けて積極的に取り組んでいる」が87%という評価です。今年度から体力づくりにおける取組をマラソンから縄跳びに変えました。学校では休み時間等を使い、児童はよく縄跳びに取り組んでいました。家庭でも取り組めるような手立てを工夫していきたいと思っております。同じく21「思いやりの気持ちを育て、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる」が89%となっています。ここは来年度の大きな課題です。100%に近づけるよう、学校全体で取り組んでいきます。感染症対策については、現在手洗い・ハンカチ持参の励行を行っております。今後も家庭と連携をしながら進めてまいります。

【児童アンケート】

学校生活・日常生活の項目

概ね90%台の評価でした。9「早寝・早起き」が64%と低かったです。早寝早起きの大切さを学校で指導し、家庭と連携しながら改善に取り組んでいきます。

学習の項目

13「学習道具を忘れない」が83%、14「宿題を忘れない」が84%、15「家庭学習」が72%、と低めです。学校では、忘れ物をするなどどんな困りごとがあるのかを考え、自分たちで学習道具を揃えることの大切さに気付けるよう、指導していきます。学習道具忘れや宿題忘れは家庭の協力も必要です。連携をしながら改善を図っていきます。家庭学習は必要性和やり方を再度子どもたちに伝えます。家庭学習は継続してやるのが大切ですが、定着が難しいことが課題です。毎年、家庭学習カードの形式や取組の見直し、改善をしているところです。今後も児童が使いやすく、かつ習慣にできるような、カードや方法を考えていきます。

健康・安全・心の教育の項目

19「外遊びや運動をしている」が83%と低めです。寒い時期のアンケートであったことも関係していると考えますが、今行っているロング昼休みの活用を更に充実させ、外に出るきっかけ作りをこれから検討していきます。23「先生は困った時に相談しやすい」が84%と低めです。これは保護者アンケートの「分からないところを先生に教えてもらっている」の低さにもつながっていると考えます。それに対して、教職員アンケートでは、これらの関連項目は高い評価となっております。評価に差があるというこの結果を真摯に受け止め、改善に向けて取り組んでまいります。

3. 自由記述

【安全・安心な学校づくりについて】

子どもたちの話をしっかり受け止め、気持ちに寄り添い、全ての子どもたちにとって、心も体も安全で安心な学校であるよう、職員一同取り組んでまいります。また、学校における集団生活をする中で、必要なきまり、マナー、友人関係等は、道徳教育を中心に、全ての学校教育の中でしっかり指導してまいります。

【登校班について】

登校班は、子どもたちが安全に登下校できるように編成していますが、登下校の様子を見てご心配なことがあればご連絡いただき、ご相談させていただいております。歩き方等で心配なことは、すぐに安全な歩行についての指導を行います。ご自宅の所在地等の関係で、一人で歩く距離が長くなるなどの心配なことに対処するには、班の構成員全てに関わりますので、調整に時間がかかることもあります。ご了承いただければと思います。

【縄跳び大会について】

今年度から体力づくりをマラソンから縄跳びに変更した関係で、大会種目も縄跳びに変更いたしました。以前から、マラソンは練習期間だけでは体力が十分につかず、大会当日を含め、体調不良者や怪我をする者が多く出てしまうことが課題でした。また、大会の保護者駐車場の確保が難しいため、ご不便をお掛けしてしまいました。そこで、職員で検討をした結果、今年度から縄跳びに変更することにいたしました。子どもたちは練習期間だけでなく、休み時間等を上手に活用して縄跳びに取り組んでいました。縄跳び大会は今回初めてだったため、課題も多くありました。来年度は、更によりよい大会になるよう、学校内でも検討をしていきます。

【PTA活動について】

日頃よりPTA活動にご協力くださり、ありがとうございます。PTA活動の在り方については、3月のPTA本部役員会で検討し、令和7年度のPTA総会でみなさまのご意見を伺う予定です。

【その他】

〇いつも子どもたちが健やかに育ち、学べるような環境・雰囲気づくりをありがとうございます。これからは安全な・安心な学校をよろしく願います。

今回の皆様から頂戴いたしましたご意見を、今後の学校運営にいかし、よりよい白濁小学校にしていきます。ご協力ありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

4. 教育活動アンケートに関する学校評議員会でのご意見

- 〇白濁小の子どもたちはとてもよく挨拶をしている（地域でも）。「ありがとう」が言えるのはとてもよいこと。
- 〇早寝・早起き、睡眠の大切さは、子どもにも家庭にも知らせていくとよい。
- 〇読書については、1週間に1冊本の貸し出しをし、家庭に持ち帰るなどしてみてもよいのではないかと。
- 〇手伝いは「こういうことをやってみる？」など家庭で声かけをしてもらおうとよいのではないかと。
- 〇ICTの活用は、使い方や内容の工夫でどの学年でも活用できるようにしてもらおうとよい。